

ShugoArts

藤本由紀夫 略歴

1950年 名古屋市生まれ

大阪市在住

個展

2017	「STARS」 シュウゴアーツ (東京) 「キュレトリアル・スタデイズ 12: 泉/Fountain 1917-2017, Case 2: He CHOSE it.」 京都国立近代美術館 (京都)
2016	「Broom (Coal)/ Tokyo」 シュウゴアーツ ウィークエンドギャラリー (東京)
2015	「THE BOX OF MEMORY」 京都アートホテル クマグスク (京都) 「Sound and Vision-David Cunningham and Yukio Fujimoto」 Laure Genillard (ロンドン)
2014	「retard」 シュウゴアーツ (東京) 「music/box」 E&C ギャラリー (福井)
2013	「REVOLUTION & GRAVITY」 ギャラリーキャプション (岐阜)
2011	「philosophical toys」 ギャラリーキャプション (岐阜) 「n/t -phonography/ photography-」 シュウゴアーツ (東京)
2010	「notes 1979-2009」 サイギャラリー (大阪)
2009	「遠/近」 シュウゴアーツ (東京) 「The Tower of Time」 アイコンギャラリー (バーミンガム) 「audio/visual V」 ギャラリーキャプション (岐阜) 「藤本由紀夫展」 西脇市岡之山美術館 (兵庫)
2007	「see/here -見ることと聞くこと」 高砂屋 (鳥取) 「ECHO -潜在的音響」 広島市現代美術館 (広島) 「+/-」 国立国際美術館 (大阪) 「philosophical toys」 西宮市大谷記念美術館 (兵庫) 「関係」 和歌山県立近代美術館 (和歌山) 「静/聴」 シュウゴアーツ (東京)
2006	「アート@アグネス」 アグネスホテル (東京) 「美術館の遠足 10/10」 西宮市大谷記念美術館 (兵庫) 「ここ、そして、そこ」 名古屋市美術館 (名古屋) 「audio/visual IV」 ギャラリーキャプション (岐阜)
2005	「美術館の遠足 9/10」 西宮市大谷記念美術館 (兵庫) 「audio/visual III」 ギャラリーキャプション (岐阜)
2004	「哲学的玩具 II」 シュウゴアーツ (東京) 「美術館の遠足 8/10」 西宮市大谷記念美術館 (兵庫) 「工芸館、藤本由紀夫、大原美術館」 大原美術館工芸館 (岡山)
2003	「美術館の遠足 7/10」 西宮市大谷記念美術館 (兵庫) 「AUDIO/VISUAL II」 ギャラリーキャプション (岐阜)
2002	「in/out」 京都芸術センター (京都) 「美術館の遠足 6/10」 西宮市大谷記念美術館 (兵庫)

ShugoArts

2001	「PHILOSOPHICAL TOYS」サイギャラリー (大阪)
	「四次元の読書」CCGA 現代グラフィックアートセンター (福島)
	「美術館の遠足 5/10」西宮市大谷記念美術館 (兵庫)
2000	「美術館の遠足 4/10」西宮市大谷記念美術館 (兵庫)
	「AUDIO/VISUAL」ギャラリーキャプション (岐阜)
1999	「美術館の遠足 3/10」西宮市大谷記念美術館 (兵庫)
1998	「A RED MOON」サイギャラリー (大阪)
	「美術館の遠足 2/10」西宮市大谷記念美術館 (兵庫)
1996	「オブライエンの部屋」サイギャラリー (大阪)
1994	「藤本由紀夫 サウンドオブジェ展」児玉画廊 (大阪)
	「藤本由紀夫 版画展」サイギャラリー (大阪)
1992	「FATE & CHANCE」ヒルサイド・ギャラリー (東京)
1991	「藤本由紀夫 サウンド・オブジェ展」INAX スペース (広島)
	「4D」インターフォームアトリエ/ フォトインターフォーム (大阪)
1990	「屋上の耳」児玉画廊 (大阪)
	「Yukio Fujimoto in Gulliver's Travels」ギャラリービュウ (大阪)
	「藤本由紀夫 サウンド・オブジェ展」HALS ギャラリー (東京)
	「星」ジーベック (神戸)
1989	「藤本由紀夫 サウンド・オブジェ展」児玉画廊 (大阪)
	「藤本由紀夫 サウンド・オブジェ展」西脇市岡之山美術館 (兵庫)
	「Self-Portrait」リトルギャラリー (大阪)
1988	「NOWHERE Dedicated to Lewis Carol」ノースフォート (大阪)
	「Voice of Gallery」ヴォイスギャラリー (京都)
1987	「ミラノ近郊の別荘の不思議な中庭」ノースフォート (大阪)
	「F's Collection」ノースフォート (大阪)
	「Magical Simulation」アートスペース (兵庫)
1986	「箱庭の音楽」ノースフォート (大阪)

グループ展

2017	Upcoming 「20th DOMANI・明日展 PLUS×日比谷図書文化館 (仮称)」日比谷図書文化館 (東京) 「ニューイ・ブランシュ KYOTO 見立てと想像力ー千利休とマルセル・デュシャンへのオマージュ」元淳風小学校 (京都) 「港都K O B E 芸術祭 - rendez-vous」神戸ポートターミナルホール (兵庫)
2016	「オープン・スペース 2016 メディア・コンシャス」NTT インターコミュニケーション・センター (東京)
2015	「Sound and Vision -David Cunningham and Yukio Fujimoto-」Laure Genillard (ロンドン)
2014	「音のステーション」アートエリア B1 (大阪) 「絵画の輪郭」シュウゴアーツ (東京) 「phono/graph - sound, letters, graphics」ギンザ・グラフィック・ギャラリー (東京)
2013	「堂島リバービエンナーレ 2013- Little Water」堂島リバーフォーラム (大阪) 「Re:Questー1970 年代以降の日本現代美術」ソウル大学校美術館 (ソウル) 「周縁からのフィールドワーク」ギャルリ・オーブ (京都)

ShugoArts

2012	「phono/graph」 Dortmund U (ドルトムント、ドイツ)
	「記録する視線」 シュウゴアーツ (東京)
	「NOTATIONS -THE CAGE EFFECT TODAY-」 HUNTER COLLEGE / TIMES SQUARE GALLERY (ニューヨーク)
2011	「BOX」 ギャラリーノマル (大阪)
	「オムニログ：オルタネイティング カレント： 3.11 以降の日本現代美術」 Perth Institute of Contemporary Arts (PICA) (パース)
	「耳をすまして-美術と音楽の交差点」 茨城県近代美術館 (茨城)
	「phono/graph -音・文字・グラフィック-」 ddd ギャラリー (大阪)
	「Art in an Office -印象派・近代日本画から現代絵画まで」 豊田市美術館 (愛知)
	「ほんをさがして」 ギャラリーほそかわ (大阪)
2010	「The Record: Contemporary Art and Vinyl」 Nasher Museum of Art at Duke University (ダーハム、ノースカロライナ州、アメリカ)
	「Negotiation- Today's Documents 2010」 Today Art Museum (北京)
	「Living with art -Contemporary Art from Japan and Taiwan」 Yi&C.Contemporary Art space (台北)
	「六甲ミーツ・アート 芸術散歩 2010」 オルゴールミュージアム ホール・オブ・ホールズ六甲 (神戸)
2009	「2009年コレクション展 II 美術の中のかたち -手で見える造形- SHADOW -exhibition obscura-」 兵庫県立美術館 (兵庫)
	「神戸ビエンナーレ 2009 招待作家展 LiNK-しなやかな逸脱」 兵庫県立美術館 (兵庫)
2008	「開館 20 周年記念 コレクション+ (プラス) ひびきあう音・色・形」 高松市美術館 (香川)
	「小杉武久+藤本由紀夫展 音楽」 国際芸術センター青森 (青森)
	「時間の形」 丸亀市猪熊弦一郎現代美術館 (香川)
	「ライト・[イン]サイト 拡張する光、変容する知覚」 NTT インターコミュニケーションセンター[ICC]ギャラリーA ほか (東京)
2007	「第 52 回 ヴェニス・ビエンナーレ」 アルセナーレ (ヴェニス)
2006	「A ランチ」 AXIS GALLERY ANNEX (東京)
	「再生-孕む彫刻~ギャラリーコレクションとともに」 ギャラリーほそかわ (大阪)
	「取手アートプロジェクト 2006」 (取手)
2005	「サマーショウ」 シュウゴアーツ (東京)
	「西から東から」 シュウゴアーツ (東京)
2004	「心の在り処 -日本の現代美術-」 モスクワ現代美術館 (モスクワ)
	「ファン・デ・ナゴヤ美術展 2004 サウンド・マイン・ナゴヤ」 名古屋市民ギャラリー矢田 (愛知)
	「第 1 回 北京芸術区国際アートフェスティバル」 大山子芸術区 (北京)
	「「これはデュシャンではない」、ですか。藤本由紀夫、森村泰昌二人展」 MEM (大阪)
	「マルセル・デュシャンと 20 世紀美術」 国立国際美術館 (大阪)
2003	「心の在り処 -日本の現代美術-」 ルードヴィヒ美術館 (ブダペスト)
2002	「ceramica 遠藤利克&藤本由紀夫」 ニューリンアートギャラリー (ペンザンス)
	「本と美術」 徳島県立近代美術館 (徳島)
	「カフェ・イン水戸」 水戸芸術館 (水戸)
	「杉山知子・塚脇淳・藤本由紀夫 ドローイング展」 CAP HOUSE (神戸)
	「アート音楽館」 釧路市立美術館 (釧路)
2001	「第 49 回ヴェニス・ビエンナーレ」 日本館 (ヴェニス)

ShugoArts

	「among others 4」 クンストラーハウス（ドルトムント）
	「Facts of Life : Contemporary Japanese Art」 ヘイワード・ギャラリー（ロンドン）
	「空間のコンポジション」 アサヒビール大山崎山荘美術館（兵庫）
2000	「イチハラヒロコ・藤本由紀夫」 サイギャラリー（大阪）
	「子どものための美術展 2000 アートで学ぼうアートを遊ぼう」 広島市現代美術館（広島）
	「その日に 5年後、77年後 震災・記憶・芸術」 川崎市岡本太郎美術館（神奈川）
	「Towards Utopia」 海岸通ギャラリーCASO（大阪）
	「ガーデン」 後楽園(岡山)
1999	「恋スル身体 A SENSE of REALITY」 宇都宮美術館（栃木）
	「五感の芸術」 クンストハウス（ハンブルグ）
	「岡田一郎+藤本由紀夫」 アートスペース虹（京都）
1998	「アート遊園地」 伊丹市立美術館（兵庫）
1997	「アートラビリンス II 時の記憶」 岡山県立美術館（岡山）
	「ものとあられわれ 新しい関西の美術家たち」 和歌山県立近代美術館（和歌山）
	「4 th 北九州ビエンナーレ 感覚の庭」 北九州市立美術館（福岡）
1996	「ひかる・うごく・おとがする 20世紀美術の静かならざる作品たち」 和歌山県立近代美術館（和歌山）
	「光の記憶'96 藤本由紀夫 + 笹岡敬展」 キュービックギャラリー（大阪）
	「植物採集展 光合成の原理」 兎玉画廊（大阪）
	「写楽再見」 国際交流基金フォーラム（東京）
	「3D-LAB. Part3 知覚の快楽」 東京都写真美術館（東京）
1995	「柔らかく重く」 埼玉県立近代美術館（埼玉） / ライフ・ギャラリー（オハイオ）
1994	「感覚による思索」 京都市美術館（京都）
	「3D STUDIO ステレオ・プレイ！展」 サムミュージアム（大阪）
	「アート・ラビリンス 90年代美術への視座」,岡山県立美術館（岡山）
	「21世紀・的・空間」 セゾン美術館（東京）
	「時間/美術」 滋賀県立近代美術館（滋賀）
	「アートは楽しい5 身体美術感」 ハラミュージアムアーク（群馬）
	「親と子で見る 楽しい現代美術」 芦屋市立美術博物館（兵庫）
	「現代日本デザイン展」 ソウル国立現代美術館（ソウル）
	「心で見る美術展」 名古屋市美術館（愛知）
	「眼の宇宙 かたちをめぐる冒険」 兵庫県立近代美術館（兵庫）
	「庭の住人 コンプレッソ・プラスティコ・藤本由紀夫」 ふくやま美術館（広島）
1993	「Gemini 二つの眼と一つの脳による読書術」 インターフォーム（大阪）
	「GIAPPONE-ANNI NOVANTA」 ローマ市立フォルクローレ美術館（ローマ）
	「3D LOVE 立体視への招待」 東京都写真美術館（東京）
	「キッズアートランド」 直島コンテンポラリーアートミュージアム（香川）
	「JAPANISCHE KUNSTLER」 デュッセルドルフ市美術館（デュッセルドルフ）
	「MUSIC -every sound includes music」 ジーベック（神戸）
1992	「UNDR」 シャロッテンボー（コペンハーゲン）
	「ミュージアム・シティ天神 '92」 福岡市天神地区（福岡）
	「アート・ナウ'92 12人の実践 90年代美術の新地平」 兵庫県立近代美術館（兵庫）
1991	「箱の世界 do it yourself」 水戸芸術館現代ギャラリー（茨城）
	「芸術祭典・京・造形部門 新古典空間学」 岩城邸（京都）

ShugoArts

	「藤本由紀夫+笹岡敬展」現代中国藝術センター(大阪)
	「現代美術'91 素材はいろいろ」徳島県立近代美術館 (徳島)
	「ANIMATED IMAGINATION 視覚への欲求」東京都写真美術館 (東京)
	「静かな部屋」ジーベック (神戸)
1990	「サウンドガーデン 3」ストライプハウス美術館/ハイネケンビレッジ (東京)
	「流動する美術 II メディアの複合 音と造型」福岡市美術館 (福岡)
1989	「音のある美術」栃木県立美術館 (栃木)
1987	「部分」ギャラリー射手座 (京都)

パブリックコレクション

高松市美術館
兵庫県立美術館
広島市現代美術館
西宮市大谷記念美術館
大阪府立現代美術センター
岩倉市
ファーレ立川
東京都現代美術館
彫刻の森美術館
名古屋市美術館
原美術館
CCGA 現代グラフィックアートセンター
国際交流基金
南芦屋浜団地
大分県立美術館